

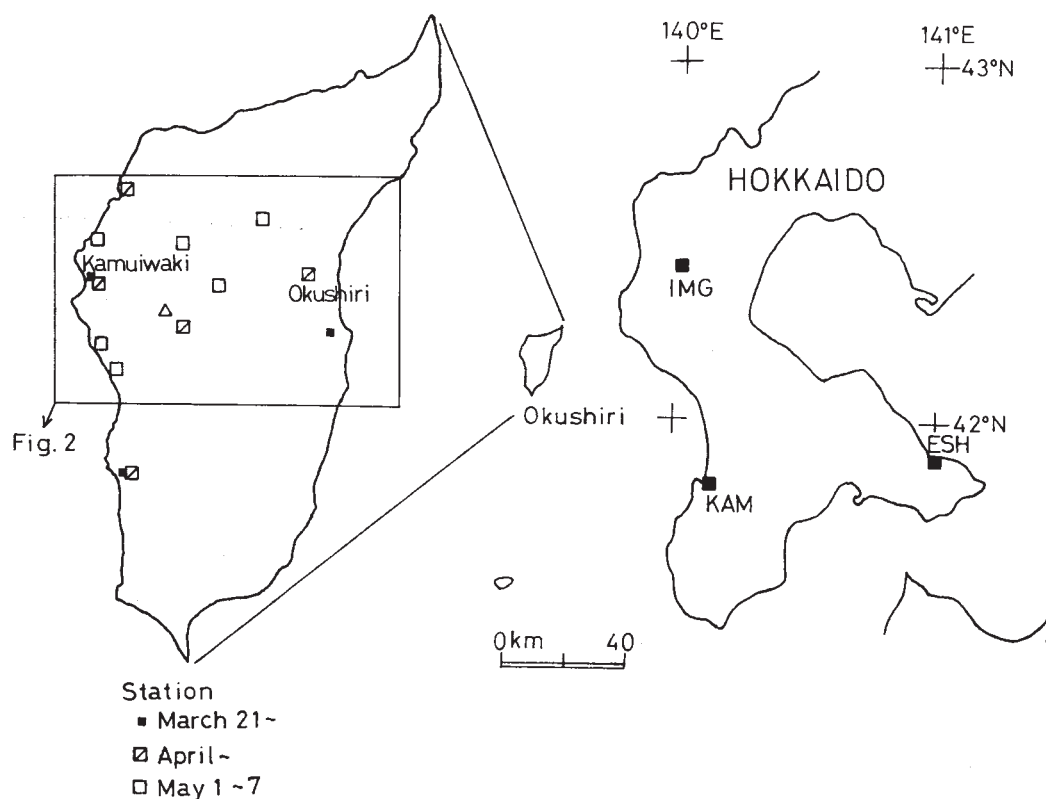
1 - 2 北海道奥尻島の群発地震 (1984年3~5月)

The Earthquake Swarm in Okushiri Island, Hokkaido (March - May, 1984)

北海道大学 理学部
Faculty of Science, Hokkaido University

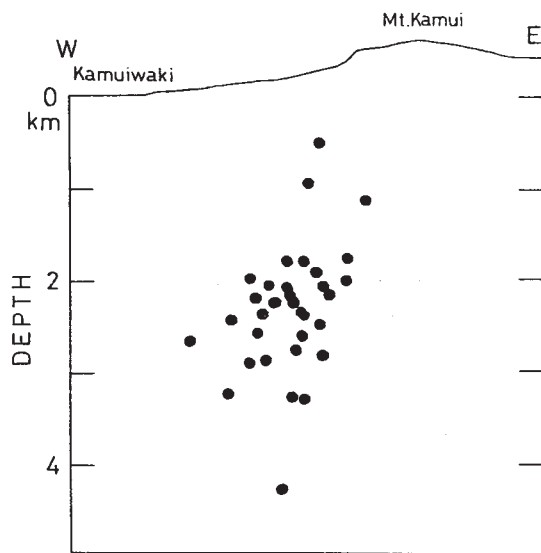
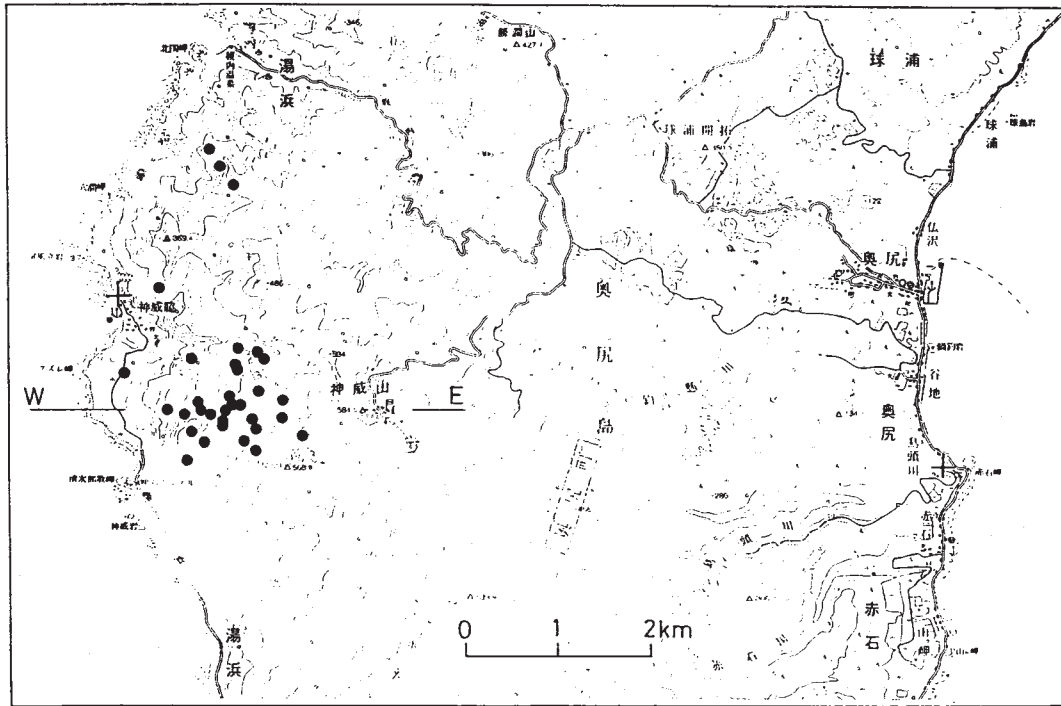
この活動は有感地震が3月18日から始まり、5月5日を最後に5月中旬でほぼ終了したと思われる。北大では第1図の如くテレメータ観測点(大黒四角)の他に現地に臨時観測点を設置した。震源地は第2図のように神威山西側の深さ数kmの深さと思われるが、詳細な解析は現在進行中である。4月に島内で神威山噴火の噂が流れたが、調査の結果神威山が活火山ではないと判断されたので、その噂は否定された。

第3図に示された $M \geq 2$ の地震回数は現地(神威脇, 奥尻町役場調べ)の有意回数とほぼ等しい。無感地震は5月中旬以後希にしか起っていない。第4図のメカニズム解は奥尻周辺の地震についてこれまでに知られている平均的メカニズム解と調和的である。(鈴木貞臣)



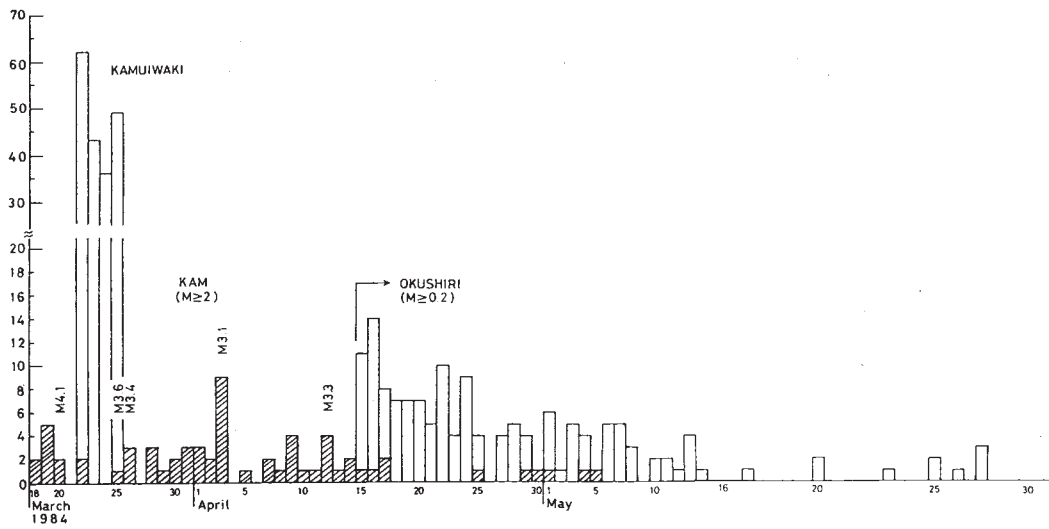
第1図 奥尻島の位置と観測点の配置図

Fig. 1 Location map of seismic stations.



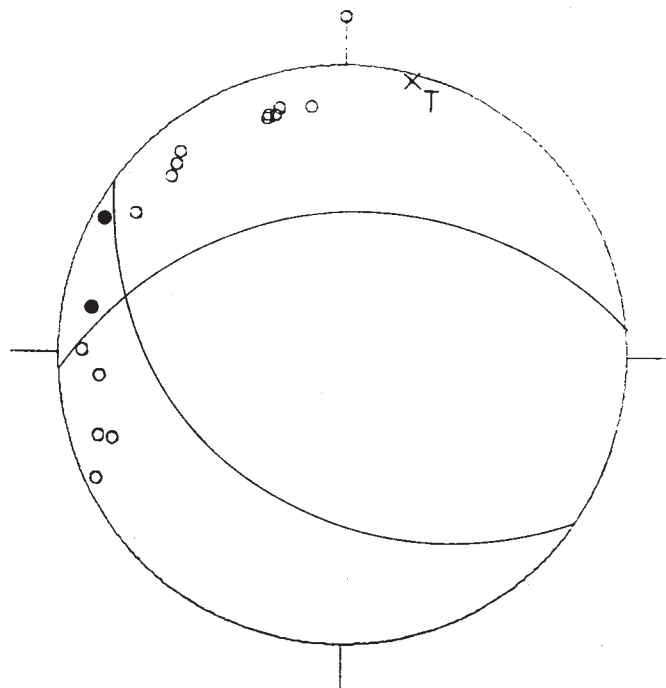
第2図 3月下旬の地震の震源分布

Fig. 2 Hypocentral distribution of microearthquakes occurring on March.



第3図 日別地震発生回数
 Fig. 3 Daily number of earthquakes.

OKUSHIRI 1984/3/20 06H42M M4.1



第4図 最大地震 (3月20日, M4.1) のメカニズム解
 Fig. 4 Focal mechanism solution of the largest earthquake (March 20, M = 4.1).